



資料 1

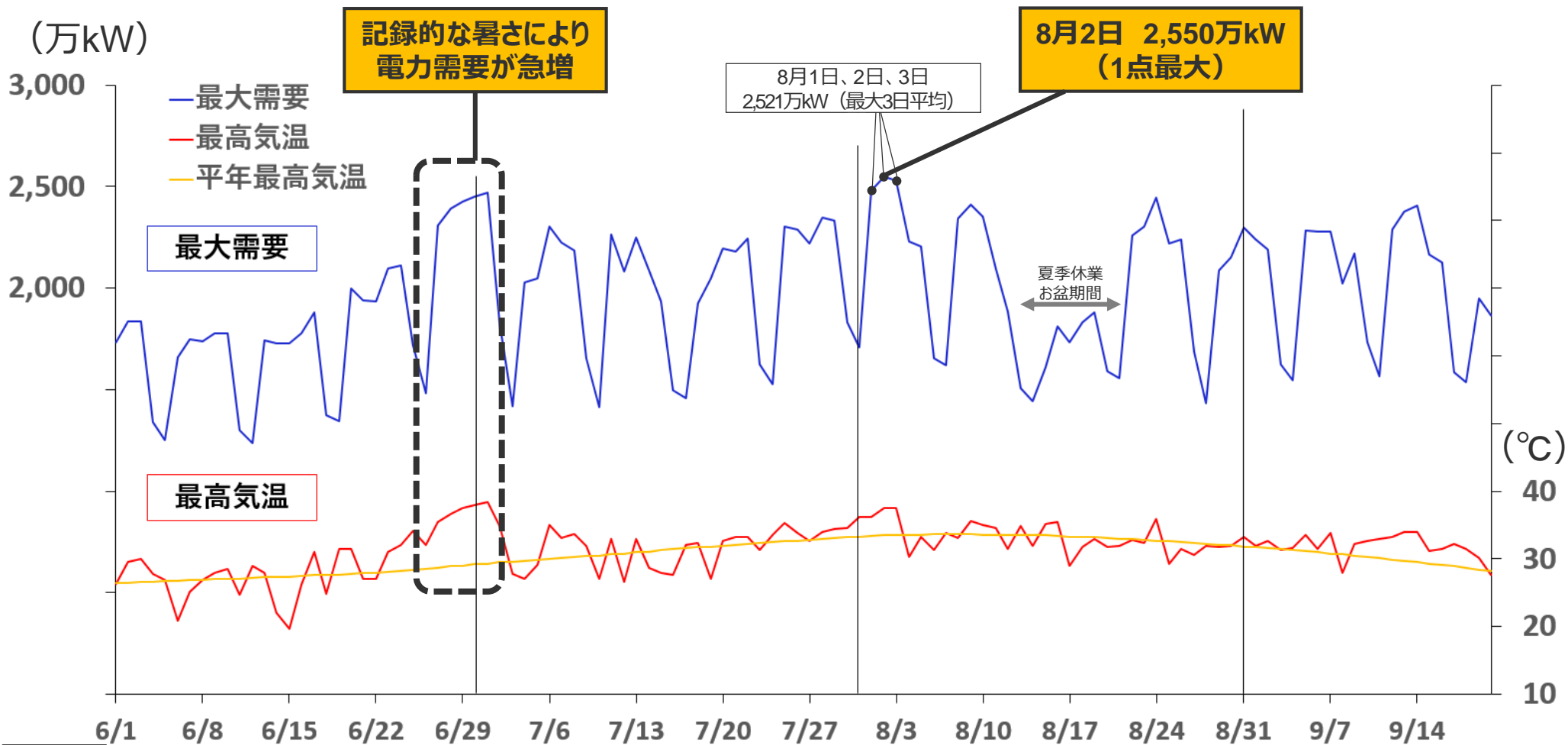
今夏の電力需給実績

中部電力株式会社

2022年10月5日

2022年度夏季の最大電力および最高気温の推移

- 6月下旬に記録的な暑さにより電力需要が急増した。
- 8月2日には気温が37.5度まで上昇し、今夏の最大電力需要2,550万kWを記録した。



夏季の最大電力需要および最小予備率の実績

- この夏の一点最大電力需要は、8月2日（火）14時台に記録した2,550万kWとなった。
- 予備率は、8月3日（水）16時台にこの夏の最小となる5.3%となった。

<需給バランス実績>

(送電端：万kW)

	最大需要 8月2日（火）14時台	最小予備率 8月3日（水）16時台
需 要	2, 5 5 0	2, 4 1 2
供 給 力	2, 7 3 9	2, 5 4 1
(再掲) 太陽光	5 9 5	1 8 3
予 備 力	1 8 9	1 2 9
エリア予備率 [%]	7. 4	5. 3

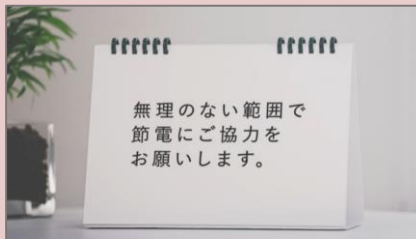

供給側の対策実施状況

- 事前に計画していた供給力対策を確実に実施し、安定供給に必要な供給力を準備した結果、**今夏は、期間を通じて安定供給を確保**することができた。

対策	実施状況
火力増出力運転	✓広域予備率8%を下回る見通しであったことから、中部エリアの火力発電機の定格出力を超えた出力での運転を計3回（6/27、8/2、8/3）実施
電源Ⅰ'発動	✓広域予備率が8%を下回る見通しとなった際に、事前に契約している事業者の皆さまにご協力いただき、需給バランス調整を実施することを目的とした調整力である電源Ⅰ'を計4回（6/27、6/30、8/2、8/3）発動
追加供給力公募	<ul style="list-style-type: none"> ✓北海道・沖縄を除く一般送配電事業者8社共同で追加供給力の公募を実施（全国で135.7万kWを確保） ✓確保したJERAの知多火力5号機について、広域予備率が8%を下回る見通しとなった際に、計2回（8/2、8/3）発動
追加供給kWh公募	✓沖縄を除く一般送配電事業者9社共同で追加供給kWhの公募を実施（全国で9.3億kWhを確保）

需要側の対策実施状況

- お客さまに「無理のない範囲でできる限りの節電へのご協力」をお願いさせていただいた。
- 中部電力ミライズから「楽しく」「お得に」「上手に」節電に取り組んでいただけるサービスをご提供させていただいた。

対策	内容
節電に関する情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6月17日に節電のお願いを実施 ✓ TV・ラジオCM、SNSにて節電に関する情報を発信 ✓ ホームページにて電力需給や節電に関する特設ページを設置 ✓ 中部電力 MIRAI TOWERでの節電メッセージの表示 
中部電力ミライズによるサービスのご提供など	<p><ご家庭向け></p> <ol style="list-style-type: none"> 1.NACHARGE（ネイチャージ） 約8.5万件のお客さまにご協力いただき、約40万kWhの効果 2.「家族のじかん応援プロジェクト」における省エネチャレンジ 約24万件のお客さまに参加いただき、約370万kWhの効果 <p><法人向け></p> <ol style="list-style-type: none"> 1.法人のお客さまへの需要抑制のお願い 2.法人のお客さまへのデマンド・レスポンスの拡大 
自治体と連携した節電のお願い	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 管内すべての自治体（5県・216市町村）に今夏の電力需給状況をご説明するとともに、ひっ迫した際の連絡体制の構築・確認を実施 ✓ 合わせて住民のみなさまへの節電の周知啓もうについての協力をお願いし、愛知県をはじめ多くの自治体でHPや広報誌・地域の回覧板での周知啓もうを実施いただいた

2022年度冬季の電力需給見通し

- 6月に国から示された厳しい見通しに対して、電源の補修計画の変更や、追加供給力公募の結果を反映した結果、現時点で最低限必要な予備率3%を確保し、安定して電気をお届けできる見通しとなった。
- 一方で、電力需要の増加や、ウクライナ情勢などによる燃料の調達リスクは継続している。

厳気象H1需要に対する予備率

	<6月時点>					<現時点>			
	12月	1月	2月	3月		12月	1月	2月	3月
北海道	12.6%	6.0%	6.1%	12.3%	北海道	14.4%	7.9%	8.1%	12.1%
東北	7.8%	1.5%	1.6%		東北	9.2%	4.1%	4.9%	
東京		(103)	(95)	東京	7.3%		4.8%	6.4%	
中部	5.5%	1.9%	3.4%	10.1%		中部			6.4%
北陸					北陸				
関西					関西				
中国					中国				
四国					四国				
九州	九州	九州	九州	九州	九州	九州	九州		
沖縄	45.4%	39.1%	40.8%	65.3%	沖縄	44.5%	33.1%	34.4%	56.6%

注：()内は3%に対する不足量 単位:【万kW】

※2022.9.15 総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会第53回電力・ガス基本政策小委員会資料より

(ご参考) 追加供給力公募の実施結果

2022年度冬季追加供給kW公募による調達の実施結果

中部電力パワーグリッドHP

		募集量 (最大量) [万kW]	応募量 (注1) [万kW]	落札量 [万kW]	最高落札額 (注2) [円/kW]	平均落札額 (注3) [円/kW]
2022年度冬季追加供給力公募 (kW公募)	東日本エリア (注4)	103 (170)	130.5 (うちDR1.1)	77.9 (うちDR1.1)	30,696	25,972 (DR平均8,408)
	西日本エリア (注5)	99 (190)	185.6 (うちDR8.9)	185.6 (うちDR8.9)	25,557	6,810 (DR平均9,604)

2022年度冬季追加kW公募の落札について

JERA プレスリリース

2022/09/01

株式会社JERAは、一般送配電事業者による2022年度冬季追加kW公募の落札者に選定されましたのでお知らせします。

今回の公募は、経済産業省の「電力・ガス基本政策小委員会」等における議論を踏まえ、冬季需給対策として供給力 (kW) を追加確保するため、一般送配電事業者が実施したものです。2023年1月4日から2月28日の間、追加供給力として東日本エリアで103万kW (最大170万kW)、西日本エリアで99万kW (最大190万kW) が募集されました。

当社は、追加kW公募に応札し、長期計画停止中の姉崎火力発電所5号機、知多火力発電所5号機、知多第二火力発電所1号機、四日市火力発電所4号系列4・5軸の供給力を落札しました。今後、これらのユニットの運転再開準備を進めてまいります。

当社は、引き続き、地域の皆さまおよび関係各所のご理解・ご協力をいただきながら、エネルギーの安定供給に全力で取り組んでまいります。